



幌延町長 宮本 明

平成18年度 町政執行方針

はじめに

幌延町議会議員の皆さん
幌延町民の皆さん

平成18年第2回幌延町
議会定例会の開会にあた
り、町政執行の所信を申
し上げます。

今冬（こんふゆ）は日
本全土に記録的な豪雪が
続き、除雪や住居倒壊に
よる死傷事故が多発し、
全国で百数十名の方々が
尊い命を失っております。
ご冥福を心からお祈り申
し上げます。

地域住民の生命と財産
を守る立場にある者とし
て、この教訓を胸に刻み
住民が安全に安心して暮
らせるまちづくりに一層
邁進してまいります。

さて、私が町民の皆様
から町長という重責を担
わせていただいてから3
年が過ぎ、任期最後の締
めくくりの年を迎えまし
た。顧みますと、日本経
済がバブル崩壊後の複合
的な構造的な要因による停滞
のなかで地域経済や地方
財政そして住民生活に大
きな不安を抱えての船出
でした。

そんななか議会議員及
び町民の皆様のご理解と
ご協力により、予定した
各種施策や事業を進める
ことができました。

平成17年の日本経済の
堅調な回復が続くなかで、
北海道経済の景況感は一

復基調にあるもののその
スピードは緩やかで低迷
から脱するにはまだ時間
がかかりそうです。

幌延町においても、公
共事業が縮減されるなか
民間需要に期待が持てず
厳しい環境が続いており
ます。

しかし、幌延町は幾多
の苦難を乗り越えてきた
多くの先人の方々の努力
を見習い現在直面してい
る困難に立ち向かい、産
業・経済を着実な回復基
調に乗せていく責務があ
ります。

国と地方の厳しい財政
状況により地方交付税制
度の改革を含む、いわゆ
る「三位一体改革」が進め
られるとともに地方行政
の困難な課題を解消する
方策として、「市町村合併」
が推進されております。

私は西天北4町の任意
合併協議会の解散を受け
て、町の将来については
『幌延町は単独・自立で
行く』ことを決断・表明

しました。

私は「ほろのべ自律プ
ラン策定住民会議」が町
民の目線でまとめた『ほ
ろのべ自律プラン』を最
大限尊重し、「第4次幌
延町行政改革大綱」と位
置づけて、幌延町の自律
に取り組むことを決意し
ました。

自律に向けたまちづく
りの基本理念を『小さく
とも、キラリと輝き続け
るまちづくり』と掲げ、
取り組んでいるところで
あります。

改革を進めるに当たっ
ては何時のときも「総論
賛成・各論反対」に直面
し、摩擦・軋轢が起こり
ますが、町の存立・自律
に向けそれぞれの政策・
事業の説明責任を果たし、
推進してまいります。

いま幌延町がおかれて
いる状況は、依然として
厳しいものがありますが、
今一度、初心に帰って、
私が選挙のときに掲げた
基本テーマの『町民主体